

# 2016 年度学生奨学論文を募集します！

在学生の皆さん！日頃の勉強成果を論文で発表しませんか？個人でも、グループでも応募可能です。入賞者には副賞として最高20万円の奨学金および5万円の図書カードを贈ります。募集要項をよく読んで、どんどご応募ください。（過去の様子は <http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/thesis/> を参照）

## 応 募 要 項



### 1. 応募資格

大阪経済大学に在籍する学部生。1人または1グループにつき1論文とします。

※但し、インターネット公開の許諾を条件とします。科目等履修生は該当しません。

### 2. 論題

自由論題ですので、各自で自由に論題を設定してください。

※論文については、先行研究を十分に踏まえて作成してください。

### 3. 原稿の体裁

分量はおおむね、刷り上りがA4版横書きで、図表・統計資料を含めて10ページ程度とします。但し、表紙、要約、目次は原稿枚数に入りません。なお、作成にあたっては、原稿様式（Word形式）を学会ホームページに掲載しますので、その様式を使用してください。（6月ごろ掲載予定）

【注意】以下の体裁を守らない場合は審査の対象外となります。

- (1) 1ページ 40字×40行
- (2) 表紙→要約→目次→本文の順番で作成
- (3) 表紙、800字程度の要約、目次を作成
- (4) 本文にはページ数を表示する
- (5) 論文執筆に利用・引用した文献および資料はすべて、脚注や参考文献として表示すること
- (6) 論文内（データ等含む）に謝辞や指導教員等がわかる情報は一切入れない
- (7) 集団研究の成果で個人が応募する場合、関係者の承諾を得ること（承諾書の提出義務）
- (8) 応募は未発表の論文であること
- (9) 過去の論文を発展させ、過去の論文の結論をより確かなものとできるのであれば、未発表の論文として応募できる（本文初めに「本論文は、20××年度学生奨学論文に応募した原稿を基に、作成したものである」などの記載を入れる）
- (10) 共同論文の場合は、全体の構成をよく考え、各章で同じ内容になっていないかなど、確認すること
- (11) 誤字脱字がないか必ずチェックをすること



### 4. 提出について

提出期間：2016年9月26日（月）～9月30日（金）17:00まで（但し、土日祝は除く）

受付時間：9:00～17:00（休憩時間12:30～13:30除く）

※厳守 上記期間を過ぎた提出は認めません

提出先：大阪経大会事務局（J館3階 研究支援・社会連携課内）

提出物：(1) 学生奨学論文申込票（1枚）・・・6月に学会ホームページに掲載予定です。

ボールペンで記入する（シャープペンシル、えんぴつは不可）

(2) 学生奨学論文使用許諾書（1枚）・・・6月に学会ホームページに掲載予定です。

ボールペンで記入する（シャープペンシル、えんぴつは不可）、押印する。

(3) CD-ROM（1枚）※ 提出したCD-ROMは返却しません。

論文原稿のファイルはホームページに記載の所定の様式（Word形式で拡張子は.docx）を使用すること

CD-ROMに名前・学部・学籍番号・学年組番号・タイトルを記入する。

(4) 論文原稿（1部）プリントアウトした原稿

(5) 関係者の承諾書（該当する論文のみ）

※ 不備がある場合は、審査の対象外とします。



# OSAKA KEIDAI GAKKAI

## 5. 審査

本学専任教員で構成する審査委員会が行います。

## 6. 結果発表

2016 年 12 月に受賞発表・表彰式を開催します。

## 7. 表彰と副賞

■ 参加賞として、図書カード5千円分を差し上げます。

※個人応募の場合は応募者本人に、グループ応募の場合はグループに図書カード5千円分を差し上げます。

※但し、審査委員会において審査対象外と判断された論文については、参加賞は出しません。

■ 入賞者へは12月に受賞発表会を開催し、賞状及び副賞を授与します。各賞と副賞は以下のとおり。

〔特選〕 副賞 奨学金20万円（経大学会）および図書カード 5 万円分【大樟会（同窓会）】

〔入選〕 副賞 奨学金10万円（経大学会）および図書カード 3 万円分【大樟会（同窓会）】

〔佳作〕 副賞 奨学金 5万円（経大学会）および図書カード 1 万円分【大樟会（同窓会）】



## 8. 入賞論文の公表

入賞論文については、「大阪経大学会通信」に概要を掲載するとともに、全文を複写・製本して、図書館で閲覧できるようにします。また、特選および入選論文については、本学会ホームページにも公開します。

入賞論文の著作権については、大阪経大学会に帰属します。

## 9. 昨年の入賞論題・・・図書館にて閲覧可能です

〔特選〕 該当なし

〔入選〕 該当なし

〔佳作〕 ★委員会設置会社のパフォーマンスと企業に与える影響

★同族企業の収益性と地域差異の実証研究

★過剰包装に関する消費者意識と販売者意識の齟齬

－環境及び家庭経済双方の負荷低減に向けて－

★企業の業績と役員報酬の連動性～大阪と東京の比較分析～

## 10. お問い合わせ・ダウンロード先

大阪経大学会 事務局（J館3階 研究支援・社会連携課）

TEL :06-6328-2431 FAX : 06-6370-7847

E-MAIL : gakkai@osaka-ue.ac.jp

経大学会ホームページ : <http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/>



# 第29回 学生奨学論文応募説明会

## ■ レポートとの違いを理解しよう

### □ 自分なりのテーマを設定する

『論文・レポートの書き方』

P.28「3. 卒業論文のポイント」参照

POINT



### □ 引用文献を必ず書くこと

『論文・レポートの書き方』

P.69「文献・資料の引用」参照

## ■ 応募することに意義がある

### □ 学生時代のよい経験になるし、就職活動のPRにもなる。



挑戦することが  
成長になる!

あきらめず  
書いて  
よかった!

自信を  
持つことが  
できた!

経験は  
かけがえ  
のない財産!

一人でも  
多くの学生に  
挑戦してほしい!



入賞者の声

## ■ 審査のポイントを押さえよう

### □ 形式

- ・募集要項の提出条件を満たしているか
- ・文献引用は適切か
- ・“注”のつけ方は正しいか
- ・誤字、脱字はないか

### □ 内容

- ・表現力、分析力、構成力はあるか
- ・主張が明確か、オリジナリティはあるか
- ・説得力があるか  
(結論まで整合性がとれているか)



### 引用とは・・・

論文の中で、既にある文献や資料の文章などを使った箇所のこと。

「」でくくったり、行頭を1字下げたりする。

ただし、参考文献を挙げるだけでは、論文として評価されないので注意しよう。

## ■ スケジュールを立てよう

6月

・テーマ設定



7月～9月

- ・資料収集
- ・下書き
- ・推敲

10月

・提出



### □ 形式はとっても大切

- ・形式の良し悪しで賞の種別に影響することもある

### □ 調査やフィールドワークはポイントが高い

- ・テーマの分野にもよるが、実態調査や聞き取り調査は評価が高い傾向にある

### □ 共同論文の場合はこれに気をつけて

- ・テーマを設定する際には、きっちりと方向性を合わせよう
- ・論文構成には十分注意しよう

## ■ 最後に一言

学生奨学論文は、書けば必ず自分の力になります。途中であきらめなくなることもあるかもしれませんが、頑張って最後まで仕上げましょう! わからないことがあれば、気軽に質問してください。皆さんの応募をお待ちしています。



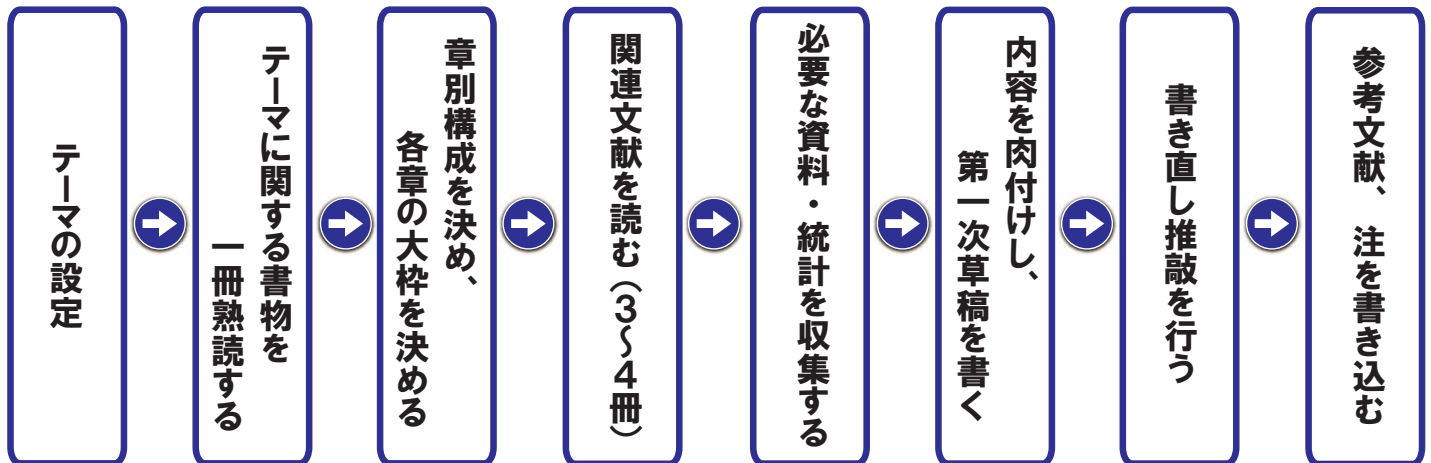
# 論文を書くには

「論文を書きたいけれど、なにから始めればいいのかわからない」そんな学生の皆さんへ。  
ここで紹介する説明や資料を見て、論文作成のステップをつかみましょう。



## ■ 論文作成の流れ

まずは論文作成の流れを把握しましょう。論文は、次の流れで作成します。



※「論文・レポートの書き方」P.30 参照

## ■ 論文執筆の手がかりとなる文献・資料

「論文作成の流れ」では、作成の大まかな流れを紹介しました。  
次の資料を用いて、もう少し具体的に作成のステップを学びましょう。

### 「論文・レポートの書き方」(冊子)

大阪経大学会発行の、論文やレポートの書き方をまとめた冊子です。レポートや論文に対する基本的な心がまえを身に着けることができます。  
論文の書き方、情報収集の仕方、文章の書き方、文献・資料の引用方法について書かれています。



### 「情報の達人第3巻レポート・論文を書こう! 誰にでも書ける10のステップ」 (DVD 資料)

レポートや論文の書き方について、動画を用いてわかりやすく解説されています。テーマの選択から仕上げまで、全部で11のステップに区切られていて、自分のペースにあわせて見ることができます。

## ■ 図書館のご案内

本学図書館では、豊富な書籍・雑誌を取り揃えています。専門分野の書籍はもちろんのこと、論文の書き方について書かれた書籍も多数あります。文献や資料を収集の際に、是非利用してください。

